

緑地管理用除草剤

フレック® 粒剤10

有効成分：テトラピオン……10.0% 鋳物質等……90.0% 包装：2.5kg×6 20kg×1

フレックは三井化学アグロ(株)の登録商標です。

林地のササ・ススキの防除・抑制に

特長

- 根部および茎葉吸収移行型の選択制除草剤で対象雑草に強く作用します。
- ササ、ススキやチガヤのイネ科雑草に効果を発揮します。
- 長期間の伸長抑制効果があり、造林木を被圧しない程度にササやススキなどを生育抑制し続けることが出来ます。また、薬量次第で枯殺することが出来ます。

ササ(抑制)



処理前



造林地に発生するササの生育抑制に！

ススキ(枯殺)



処理後



秋冬期散布が効果的なススキの枯殺！



株式会社 **エムシー緑化**



三井化学
グループ

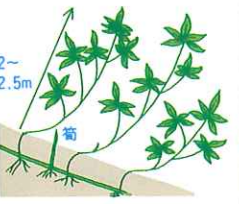
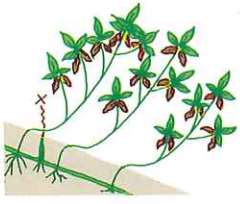
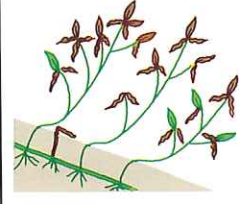
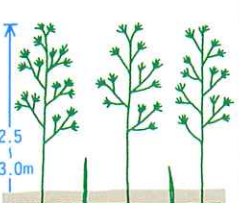
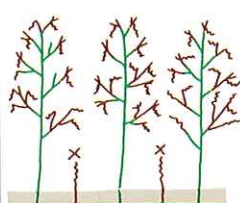
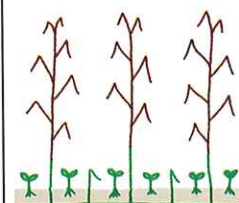
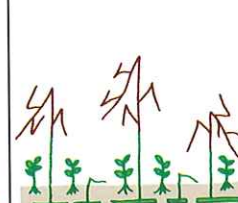
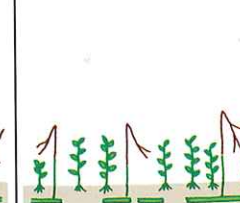
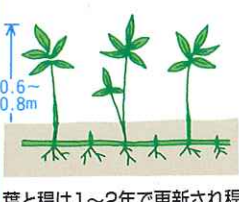
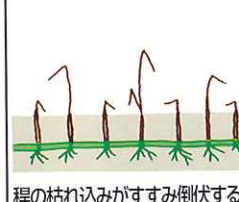
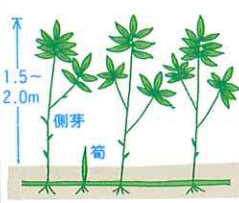
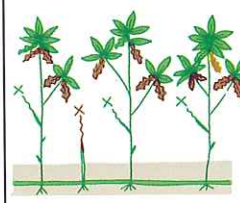
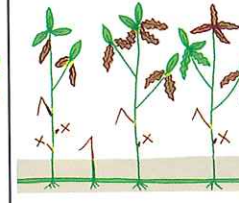
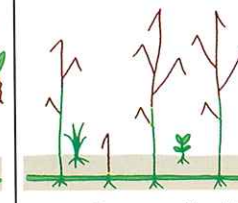
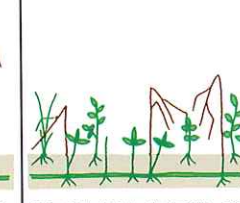
ササ地

ササにフレノック粒剤10を散布すると、吸収されたフレノック成分は地下茎の中で残り、長期間にわたって新芽の伸びを抑えます。1回の散布で4～5年の効果を発揮します。

散布方法・使用量 全面散布=30～50kg/ha

- ササの種類により感受性が異なりますので、薬量を調節してください。
ネザサ、アズマネザサは感受性が特に強く、10kg/ha散布でも効果を示します。ミヤコネザサ、チマキネザサ、クマイザサ、スズタケ、チシマザサなどには、上記の標準散布量内で大型ザサになるほど薬量を増してください。
- 散布薬量を少なくすると、効果の発現するまでの日数が長くなる傾向があります。逆に、増量すると効果が早まり、抑制の程度が強まります。さらに増量すると地下茎を枯らし、抑制ではなく枯死の状態になります。
- ササ刈払後散布すれば、そのまま散布する場合の約半量で同等以上の効果を得ることができます。
地ごしらえ後の再生防止にはすばらしい効果があります。たとえばすじ刈地ごしらえ地では、刈巾だけに散布することで、さらに薬量が減量でき、しかも場所によっては残生ザサによる寒風害防止を期待できます。
- 地ごしらえ地に使用する場合5割増程度の薬量にしてください。

フレノック粒剤10のササに対する効果の現われ方

	処理前	処理翌年伸長期	2年後伸長期	3年後伸長期	4年後伸長期
チシマザサ (ネマガリダケ)	 密生し稈は太く、年々新筍の発生と稈の分岐で新葉展開。	※スズタケは稈がかたく、テトラピオンによる反応はチシマザサに準じてお考えください。			
		 徐々に葉の黄変落葉が促進される。筍と分岐の発生は抑制。	 落葉がさらにすすみ、光がちらちと差し込むようになる。	 落葉がすすみ、稈の先端や枝先から枯れ込みが見られる。	 枯れ込みがすすみ、光の入る量が増すと植生交替がすすむ。
ネザサ・アズマネザサ (シノダケ)	 根は浅く、年々新筍の発生と稈枝の分岐による新葉展開。	 葉の寿命が短く、落葉が早まる。新筍は先端が抑制され腐る。	 完全に落葉し、稈や枝の先端から枯れ込む。	 稈の枯れ込みがすすみ、地表に光が入り植生交替がすすむ。	 稈の枯れ込みがさらにすすみ、地下茎も褐変部が増し再生は抑えられる。
ミヤコザサ	 葉と稈は1～2年で更新され稈が分岐することはほとんどない。	 新筍の発生抑制。葉は枯れ込み、稈は頂部から次第に枯れ込む。	 稈の枯れ込みがすすみ倒伏する。抑制は続き新稈の再生はない。	 稈が枯れて倒れ、地下茎の枯れ込みがすすみ、地面に光が入り交替が始る。	 植生交替がさらにすすむ。ササの再生が始るのはさらに数年あと。
チマキザサ (クマイダケ)	 稈は密生し、年々新筍と稈の側芽から新葉が展開する。	 葉の黄褐変がゆっくりすすみ、側芽の伸長は抑制する。	 抑制は続き、落葉はすすむ。枝先から枯れ込みが見られる。	 葉はほぼなくなり、枝の枯れ込みがさらにすすむ。	 旧稈の枯れ込みがすすむ一方、一部に再生芽がみられることがある。

ススキ地

散布方法・使用量 全面散布=30~50kg/ha
スポット散布=10~15g/直径30cm株

- ススキ枯殺を目的とする場合は上限薬量を、生育抑制を目的とする場合は少なめに散布してください。
- 秋冬期に処理した方が薬量が少なくすみ、効果が確実に現れます。
- ススキの発生が非常に多く全面ススキに覆われたような

所では全面にむらなく散布してください。

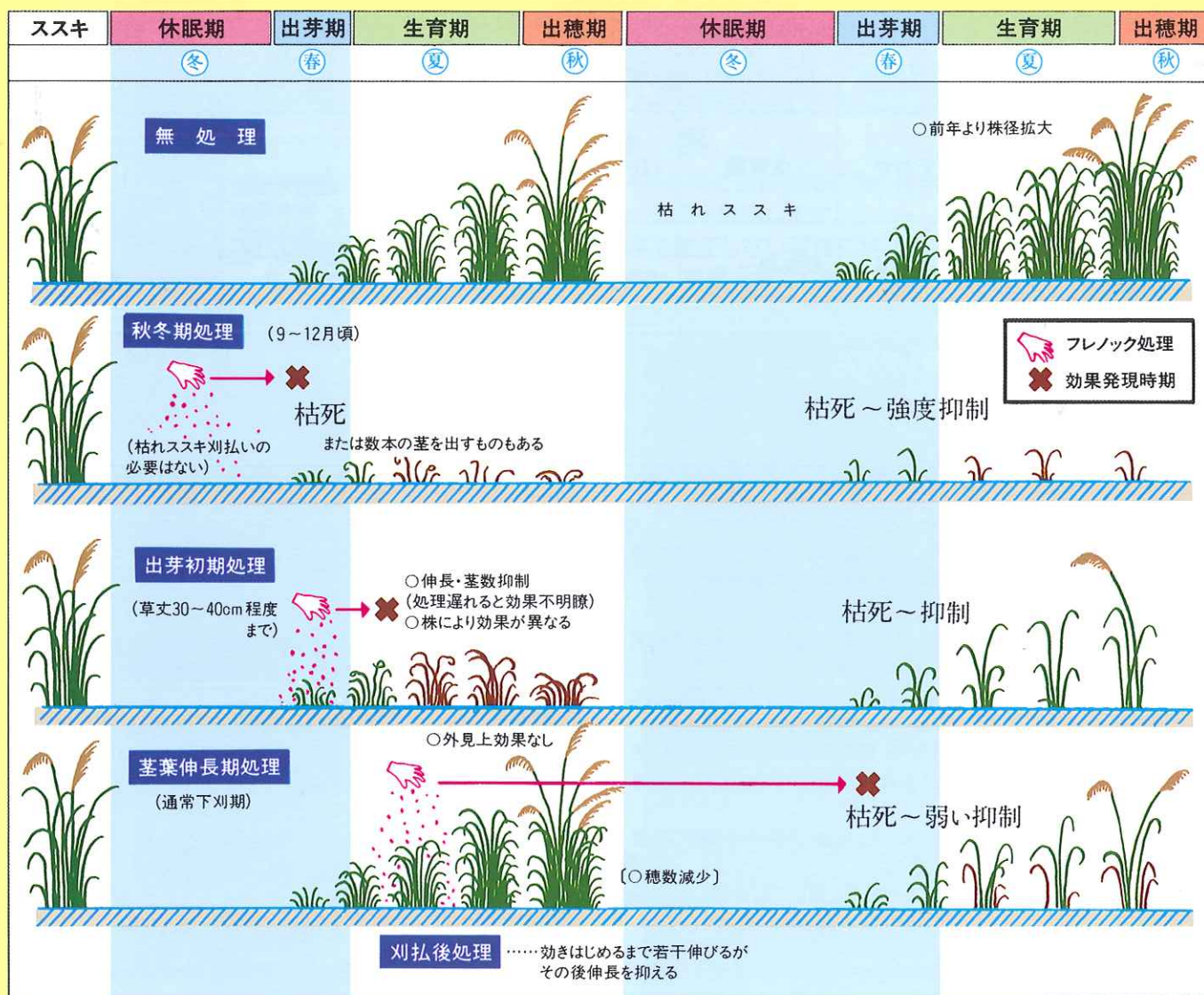
- ススキの株が少ない所では、スポット散布してください。処理量は株の大小によって適当に増減して、株全体に均一に散布してください。

スポット散布薬量

株直径	20cm以下	20~50cm	50~80cm	80cm以上
散布量	5~7.5g	10~15g	20~30g	40~60g

●処理薬量は100kg/haを越えないようにし、また造林木の周囲半径60cm以内にススキ株がいくつあっても10g以上は散布しないでください。

フレノック粒剤10の処理時期とススキに対する効果の現われ方



図は代表的な株を示しています。薬量、株の大小、地形などにより効果は異なります。

フレノックは根から吸収され、その後の新筍や側芽の出芽、伸長、新葉（茎の先端から出てくる細く巻いた葉）の展開をほぼ完全に抑えます。しかし、それ以前に開いた葉は正常で、外観上は変化を認めることができません。3~6ヶ月程すると、それらの葉も次第に黄化が目立つようになり、落葉が始まります。まず新しい葉の伸長を抑制しておいて、古い茎葉の枯れてゆくのを待つわけですから、枯死までには1~2年程度、大型ザサではそれ以上の期間を要します。

フレノック[®]粒剤10

●人畜毒性:普通物¹⁾ ●魚毒性:A類²⁾

1)「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。
2)魚毒性の分類例

分類	コイの半数致死濃度 (48時間)	ミジンコの半数致死濃度 (3時間)
A類	>10ppm	>0.5ppm
B類	0.5~10ppm	≦0.5ppm
C類	≦0.5ppm	—

適用雑草と使用方法

平成22年3月1日現在

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	テトラピオンを含む 農薬の総使用回数
開墾後に栽培 する樹木類	開墾地	ススキ	秋冬期～ 出芽初期	ススキ1株 （平均株径 30cm基準） 当り15g	1回	スポット処理散布	1回
		ササ		3～5kg/10a		全面均一散布	
すぎ （地ごしらえ、 下刈り） ひのき （地ごしらえ、 下刈り） とどまつ （下刈り） からまつ （下刈り） ぶな （地ごしらえ、 下刈り）	－	ススキ	秋冬期 但し 土壌凍結前	ススキ1株 （平均株径 30cm基準） 当り15g		スポット処理散布	
		ササ		3～5kg/10a		全面均一散布	
				ススキ			
		ササ	3～4kg/10a				
		ササ	2～3kg/10a				
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面 鉄道等	チガヤ	生育期	10～20kg/10a		植栽地を除く 樹木等の 周辺地に 全面均一散布	2回以内
		ススキ ササ	秋冬期～ 出芽初期	5～10kg/10a			

使用上の注意

効果・薬害等の注意事項

- スポット処理の場合、ススキの株数が多い場合(3,000株/ha以上)でも、処理薬量は100kg/haを越えないようにし、また造林木の周囲半径60cm以内にススキ株がいくつあっても、10g以上は散布しないでください。
- 開こん地、杉、ひのきに使用する場合、処理適期は秋冬期から雑草の出芽初期であり、伸長期になると効果が劣るが、翌年の出芽は抑制するので、効果が劣るからといって、くり返しや追加の散布はしないでください。
- 本剤は水によくとけ、降雨時、積雪時、または融雪時には流亡による効果低減のおそれがあるので、使用をさけてください。
- 本剤の飛散あるいは流出によって有用植物に薬害が生ずることのないよう十分に注意して散布してください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 水源地等に本剤が飛散・流入しないよう十分に注意してください。

安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後は(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。

貯蔵上の注意 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

*本製品は緑地管理用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

*本印刷物は平成22年3月1日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例にあてはまるものではありません。

販売元



株式会社 エムシー緑化

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-7-7
TEL 03-6842-8590 FAX 03-6842-8593



取扱